



米商進路だより

令和4年11月7日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第18号）

《 就職希望者全員合格決定 100% 》

9月16日に解禁になった就職試験ですが、11月2日付の合格通知を持って就職希望者の合格内定率が100%に到達しました。7月1日の求人票公開からスタートし、応募前の企業見学、履歴書の作成（志望理由含む）、面接の練習等、膨大な時間をかけて合格内定をいただくために頑張ってきたのです。就職希望者の内定率が100%に到達したことにより安堵感包まれたのは言うまでもありません。

合否状況を踏まえてここまでを総括すると、「面接」が重視されています。企業によっては、集団面接での発言力を見てリーダーシップ力を見極めたり、質問に対する確かな回答力、つまり応用力が問われたケースがありました。また、SPI試験の中で、適性検査を課されたり、職種に対する適性を見極められるところもあり、次年度に向けての対策を強化する必要があると痛感したところです。

ただし、面接を重視しているからといって勉強が全く関係ない訳ではありません。企業によっては、国語・数学（計算力）・英語等の基礎学力の試験の結果を重視するなど、「読み書きそろばん」の力を評価しています。日ごろの学習を大切にするとともに、本校の教育課程に位置付けられている商業科目の検定試験への執着心を忘れずに勉強に励んでみてください。

下記は合格内定状況です。県内が圧倒的に多くなっている現状を1・2年生は参考にして下さい。コロナの影響で過去2年間は採用を見送った企業が多くあり、高校生の有効求人倍率は3倍後半となり「売り手市場（高校生が有利）」となっています。また、業種では「製造」に行く人が多く、職種（仕事）は事務が多くなっていることを理解することが第一歩だと考えています。

県内			県外		
男子	女子	合計	男子	女子	合計
7	28	35	1	5	6

【業種（企業がどんな仕事をしているか）】

	製造	電気 ガス	卸売 小売	専門 技術	金融 保険	運輸 郵便	宿泊	生活	医療 福祉	サービス
県外	2	1	0	0	0	1	1	0	1	0
県内	20	0	4	1	3	0	2	1	1	3

【職種（企業に勤めたらどんな仕事をするのか）】

	事務	販売	サービス	生産工程
県外	4	1	1	0
県内	20	0	2	13

《 探究活動 新たな街づくり「スノーラーメン」 》

9月に雪をイメージした新しい米沢ラーメンのアイデアコンテストがあり本校から117件の応募をしたところ、レシピ化賞に選ばれた2人の作品をプロと作ってみる体験会（試食会）が11月6日（日）に行われました。これまでの米沢にはなかったラーメンを創作し、ラーメン店主と米沢栄養大学の学生が形にしてくれました。体験会の様子は12月NCV（ニューメディア）で放映されることになっています。

ホワイトラーメンはホワイトカレーを意識した一品、にくまんラーメンは米沢の野菜（地産地消）を肉まんにした一品になり、どちらのラーメンも試食では大絶賛でした。米沢市では、アフターコロナを見据えてインバウンドの受け入れに向けて、様々な施策を考えています。インパクトのあるラーメンは外国人には魅力であり、2人の作品は令和5年2月に上杉雪灯籠まつりでの販売が予定されています。

【 レシピ化賞 】

ホワイトラーメン	伊藤 美咲（1年2組）
にくまんラーメン	鈴木斐楓稀（3年1組）



完成したラーメン（左）プロと学生と作っている様子（右）

《 税に関する高校生の作文について 》

商業科「ビジネス基礎」の授業で取り組んでいる標記コンテストに下記の3名が入賞いたしました。税の作文は、学校教育の中で学習したことや自分自身の経験・体験などを通して、税について考えたことを作文の形で発表する本校の商業教育では伝統になっています。本年度も米沢税務署からの出前授業後に1年生が税を身近に感じることができました。機会があれば原稿を掲載したいと考えています。

米沢税務署長賞	坂野 雅姫 布施 奏枝（1組）	青野 月奈（2組）
米沢法人会会長賞	下垣 恋花（1組）	

11月13日（日）にビジネス計算実務検定試験が実施されます。1・2年生は全員受験の検定であり、「絶対に合格する」という強い気持ちで学習時間を確保してください。特に、ビジネス計算は就職後にも役立つ計算であり、事務を希望している人は1級取得を目指すべきです。3年生は、全商1級3種目を視野に入れて励んでいる人が多くいます。合格を勝ち取るべく最後まで頑張ってみましょう。